

聖書宣教会通信

東京都羽村市羽西 2-9-3 Tel:042(554)1710 Fax:042(554)5562 www.bibleseminary.jp 振替 00150-6-34971

巻頭言

「神の息吹の取り次ぎ手として」(II テモテ 3:16)

(八王子キリスト福音教会牧師、聖書神学舎教師) **横山 昌英**

学び舎での、とある昼食のとき、「先生はここで何年教えているのですか？」と尋ねられました。「16年」と答えましたが、今回原稿の依頼を受け、きちんと数えたところ何と今年度で19年目であることが判明。ここ数年上記のご質問に対し、いい加減な答えをして来たことを恥じています。こんな具合ですので、「よくもまあ務まっているものだ」と呆れつつも、これも多くの方の忍耐とお祈りによるものと感謝しております。

1997年以来、ギリシャ語初級を担当させて頂いています。学びの内容は当初から基本的に変わっていません。私達も使用し(苦しめられ)たW.H.Davisの古い初級文法書(1923年)を今も用いています。ただ、ある年に絶版となったため、急遽内田和彦先生のご指導の下、日本語に訳し、幾つか加筆したものをテキストとして使用しています。

授業内容ですが、他で学んだ経験が無いこともあって、綾部ヘンリー先生から教えて頂いた通りに教えています。私達がみっちり仕込まれたのは「分析(パース)」という作業です。ギリシャ語は語形変化が実に豊かです。特に動詞は、時制・法・態・人称において変化をし、その数は一つの動詞で400を優に超えます。テキストの例文や練習問題を解いていくのですが、ただ訳すのではなく、何故そう解すのか、その根拠を問うのです。そのために、「時制は?」「法は?」…と一つも疎かにせずきちんと「分析」します。「大体分かる」ではなく、「正確に」文意を読み取る術を身に付けてもらい、釈義へと繋げていくのが私の役目です。

以前、教会員からプロの調査師であるご主人の著書を頂き、以下の言及が今も心に残っています。「良い香りとは一体何を指すのか?」未だ解決を見ない難題と断りつつも、「豊かな人間性」を挙げておられます。数多ある香りの中から良い素材を探し当て、最高の調合をするのは、結局のところ本人の「人間性」に依るのだ、と。

聖書も、語学力さえ磨けば自ずと分かるという訳にはまいりません。「文意を読み取る」のも、問われるのは本人の人間性です。聖書神学舎は、そのために神学や実践、寮

生活、教会奉仕等を重んじる「人間性」陶冶の学び舎です。語学の学びもこの中に位置づけられます。

「聖書はすべて、神の靈感によるもの」の「神の灵感」は、「神の息が吹き込まれている」が原意です。パウロは、聖書全巻に生ける神の息吹が満ち満ちている、と証言します。この聖書こそが救いへと導き(同15節)、教会を建て上げる(16節)。働き人の働きも聖書に依ります(17節)。その息吹までもしっかり取り次ぐためには、「大体」ではなく、特定の神学でもなく、聖霊の助けを頂きつつ、聖書そのものから精緻に聴くわざ(釈義)を避けては通れません。

牧会者は油断しますと、いつの間にか聖書や教会を操る「経営者」に成り下がる危険があります。それは教会形成、信徒の方々の霊的状态等に直結します。牧師は正に責任重大です。

授業でいつも感心させられますのは、研修生の姿勢です。上記の修得のため熱心に取り組む姿を通し、ご本人の献身はもとより、改めて祈られ、送り出されている方々だと実感しています。限られた年数と尊い犠牲・ご支援の中で学んでいるのですから、学び舎での時間を大切に、ギリシャ語、ヘブル語は是非とも修得して頂きたい。但し、みことばを「扱う」のではなく(ましてや「操る」のは論外)、みことばに「扱われる」人になって欲しい。いのちの「神の息吹」を取り次ぐ者として、研修生とともに私自身も「豊かな人間性」において成長したいと願っております。神学舎のために引き続きお祈りください。





左より：山谷、小山、三原、清水、野村、中西、湯本

| 氏 名 | 出身教会 | 奉仕教会 |
|----------------|-----------------|------------------|
| (聖書神学舎本科) [7名] | | |
| 小 山 敦 史 | 湘南ライフタウンキリスト教会 | たまプラーザキリスト教会 |
| 清 水 勝 俊 | 栄 聖 書 教 会 | 浜田山キリスト教会 |
| 中 西 健 彦 | 北 栄 キ リ ス ト 教 会 | 宣 教 教 会 |
| 野 村 啓 祐 | 札幌 希 望 の 丘 教 会 | 西堀キリスト福音教会 |
| 三 原 識 文 | 大田原キリスト教会 | シオンの群昭島森の上キリスト教会 |
| 山 谷 寛 人 | グリーンヒル福音教会 | 甲府キリスト福音教会 |
| 湯 本 赦 頼 | 山 手 教 会 | 深谷西島教会 |

「わたしの羊を飼いなさい。」(ヨハネ21:17)

清水 勝俊

私が会社の駐在勤務で過ごした欧州では、日本人教会が集まる修養会が毎年開催されました。私はそこでこのみことばをいただきました。

私は海外に出て、キリスト者にも多様性があることを初めて知りました。みな主にある兄弟姉妹であり、互いを認め合うことの大切さを学びました。一方で教会を建て上げていくには、聖書をよく学び、福音にしっかりと立った健全な教えが必要と思いました。また、欧州の多くの教会は牧師がいません。異国で異邦人として暮らす困難や不安、その中で人々は切に救いと牧会を求めています。そんな中、いただいたこのみことばは、私にこれまでのすべてを捨てることを迫るものでした。

しかし、私にしかできない主の働きがある。何度も思案中、宣教会入会を決意しました。この乏しき者さへ、お用いくださる限りない御愛に応え、私の全てが主に喜ばれる捧げ物となることを切に祈ります。

いのちの道を歩む

三原 識文

「あなたのための働きをするのに、一番ふさわしい場所に私を導いてください」。そう主に祈ったことで、不思議な導きのもと、聖書宣教会に入会することになりました。献身者としての恵みは素晴らしいものです。聖書神学舎では、いくらでも神の前に出て、みことばを聞き、祈ることができます。そして何より、原典に立ち返り、みことばの持つ力強さをより深く味わうことができるということを、心から主に感謝しております。

絶対的な真理である、みことばの学びの喜びを覚えて、主に期待しております。弱さを抱えた私には、献身の道は険しいものでありますが、ここでの訓練で必要なものは全て満たされると確信します。「訓戒のための叱責はいのちの道である」(箴言6:23)からです、主の懲らしめを軽んじることなく、いのちの道を主に信頼して歩んでいきたいと思ひます。



上段左より：東海林、高田、齋藤 下段左より：野口、高宗、輪田

氏 名 奉 仕 先

(聖書神学舎本科卒業) [5名]

| | | |
|--------------|-----------------|--------------|
| さいとう 齋藤 満 | 日本同盟基督教団 | 東北宣教プロジェクト |
| しやうかい 東海林 隆之 | さきぬま 鷺沼キリスト福音教会 | 日本福音キリスト教会連合 |
| わだ 輪田 豊 | 高石聖書教会 | 福音交友会 |
| たかたか 高田 照一 | かしい 香椎バプテスト教会 | 単立 |
| のの 野口 彩夏 | | |

(聖書神学舎聖書科卒業) [1名]

| | | |
|------------|--------------|--------------|
| たかむね 高宗 昭雄 | かもと 鹿本キリスト教会 | 日本福音キリスト教会連合 |
|------------|--------------|--------------|

主の恵みを振り返って

野口 彩夏

いよいよ聖書神学舎から旅立つ時が来ました。辛いことも沢山ありましたが、それをも神様は益としてくださいました。改めて振り返ってみると全てが恵みであったと気付かされます。

研修生活や教会での奉仕を通して、今まで経験したことのない訓練を神様から次々と受け、内面を深く探られた5年間でした。少し長い研修期間でしたが、私にとっては必要な年月でした。この期間を通して、自分の弱さや惨めさと向き合わされました。自分自身のちっぽけさを認めれば認めるほど、主の赦しと御愛が私に迫ってきました。このような経験を通して主に對する愛と信頼が深まり強められたように思います。

また学びを通して、みことばの豊かさを教えられました。その豊かさは想像を遥かに超えていました。みことばを知り続け、伝え続ける幸いを覚えます。

これから御霊の働きを切に求めながら、伝道者としての生涯を歩ませていただきたいと願います。

再起

齋藤 満

5年前、カンボジアから帰国し、召しを確信し宣教会に入会した。それまでの私は「みことばに生きる」事を目指して来た。しかし限界を感じていた。そのような時ある教師の言葉が心に留まった。「みことばに生かされる生き方」。初心に返らされた。もう一度自らの生き方を聖書の光の下に晒した。そして「みことばに生かされる」体験をした。主が傍らに立ち「わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました」と語られた。そして「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としましょう」と命じられた。

カンボジアに渡った時、私は若く力に満ちていた。しかし、世の罪の現実の為す術もなかった。この春、私は再び霊の戦場へと送り出される。以前の勢いは見る影もない。しかし、今度は主の召しとみことばを握って。主に期待する。

進む。

東海林 隆之

進む。
信仰によって。
アブラハムが進み、モーセが進んだように。
弱さがある。しかしそれを言い訳には出来ない。

進む。
信仰によって。
苦難がある。時に立ち止まるのだらう。
自らを吟味するため、時に立ち止まらされるのだらう。
神学舎での4年間、進んでは立ち止まり、立ち止まっては進んだ。

それでもやはり、進む。
十字架があるのだから。
すべての希望のみなもとであり、行き着くところであるイエスご自身の十字架と復活があるのだから。
贖われ、召されたのだから。
進む。
信仰によって。

そしていつか生涯の道のりを振り返った時に、見るのだと思う。
「みことばの真実さ」という旗印が、その道にそって何本も何本も、立っているのを。

「キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標をみざして一心に走っているのです。」ピリピ 3:14
「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」ヘブル 12:2

1460泊1461日

輪田 豊

およそ1460泊に及ぶ、長くまた短い聖書キャンプが終わりました。朝から晩まで聖書にどっぷり浸かる毎日でした。常にみことばが手に届く所にありました。会社勤めをしていた頃では考えられないような生活です。当時は、朝から晩まで仕事にどっぷり浸かり、職場に聖書はありませんでした。神学生になり、いざ、みことばと毎日向き合うようになると、自分の罪の姿を直視させられます。身近な人ですら愛せない弱さ、自分は正しいと思う高慢等々、多くの醜態を晒していたことに気付かされました。その時、主イエス様の救いの恵みの豊かさを深く体験させて頂きました。この聖書キャンプを通して、みことばこそが真理である

ことを再確認できました。そして、この弱い私をも働き人として召して下さっていることの確信が強められました。

私達を忘れずに覚えてくださる主に感謝し、祈り支えて下さった神学校や奉仕教会と母教会の兄姉たちに感謝します。

福音版「隗より始めよ」

高田 照一

「だから言ったじゃないですか、神様。」
何度このように心の内で、また口に出したことでしょうか。聖書知識もおぼろげで、英語すら、いや日本語文法でさえ怪しいのに、授業について行ける訳がない。そうは言いつつも恵みで押し出されて、仮入会から始めさせて頂きました。やはり実際、学びについて行けず、おそらく宣教会で歴代1・2を争う追試を受けさせて頂いた筈です。落第もしました。更に自分自身の惨めな、愕然とする現実を直視させられ、何度か荷物をまとめました。

その中で、生けるまことの神が本当にいらっしゃると思ってるなら、何をなさるのだろうかと思ひ至らされた時、何かが変わりました。厳しさの中に安らぎがあり、困難な現実の中に確かな神の御守りが、御導きがある。召しがおありの方は、どうぞ宣教会にいらしてください。語学が苦手と言いつつおそらく、私たちの御神はその真剣な思いに、十分なほど応えてくださる筈です。

主の助け

高宗 昭雄

宣教会でのこの2年間は正直辛かった、大変だった、でも感謝と祝福に満ちたものであったということに尽きると思います。また、同時にぎりぎりの所に追い込まれた時、神様はいつも最善の方法と必要な力を与えてくださり、さまざまなことから、救い出してくださり、助けて下さいました。神のご臨在を覚えるそんな2年間でした。宣教会での学びは、召された者への許された学びであることを、痛感します。自分のためではない、自分の興味や必要のためではない、主の召しに応えた者への神が与えた学びだと思ひます。だからこそ、召された者には、実に不思議な助けが与えられるのだと思ひます。そうでなければ、宣教会での学びは、到底おぼつかなく思われます。まさに、神が、全ての主なのです。

最後になりますが、先生、職員の皆さん、研修生、聴講生それぞれに大変お世話になりました。ありがとうございました。

主のあわれみに感謝

2014年度収支決算概要 2015年度収支予算概要

単位/千円

| 収入の部 | 2014年度予算 | 2014年度決算 | 2015年度予算 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 維持献金 | 30,000 | 31,473 | 31,000 |
| 指定献金(研修生) | 22,500 | 22,281 | 22,300 |
| 特別指定献金 | 5,750 | 10,589 | 5,750 |
| その他収入 | 7,630 | 6,677 | 5,782 |
| 収入の部合計 | 65,880 | 71,020 | 64,832 |
| 支出の部 | | | |
| 活動費 | 5,700 | 5,667 | 5,975 |
| 管理費 | 11,226 | 11,019 | 10,600 |
| 人件費 | 37,219 | 36,586 | 37,130 |
| 諸準備金繰入 | 5,750 | 10,589 | 5,750 |
| その他支出 | 5,985 | 7,124 | 5,377 |
| 支出の部合計 | 65,880 | 70,985 | 64,832 |
| 収支差額 | 0 | 35 | 0 |

主の御名をあげます。

2014年度も、日々主にある皆様のお祈りと献金のお支えをいただき心より感謝申し上げます。

今年度よりこの様式で報告させていただきます。期中に収支バランスがマイナスとなり祈られましたでしたが、年度末にかけて個人の大口の献金が数件加えられて、準備金を取り崩すことなく、僅かですが黒字となりました。また特別指定献金の90%は奨学金指定献金でした。新年度の予算も昨年に準じた額とさせていただきました。

以上感謝をもって報告させていただきます。

(聖書宣教会財務)

「 図 書 館 から 」

図書館長 津村 俊夫

限られた予算をいかに有効に使うか—これは、規模の大小にかかわらず、組織が常に直面する課題です。それは、個人の金銭管理においても同じでしょう。それは、また、限られた時間を、いかに有効に使うかということと、連動しています。

図書館での「選書」の難しさは、予算と時間を、いかに有効に使うかに関わっています。十分な予算がなければ、願い通りの選書が出来ませんし、資金があっても時間がなければ良い情報に到達できません。

資金さえあればとりあえず、必要な本は何でも買っておこうということになるのですが、現実はその簡単ではありません。「本」であるなら、どこに保存するかが問題となります。省スペースのために、出来るだけデジタル版を購入することも必要です。

お金がなくとも、時間があれば、良い本や情報資料を整えることはできます。時間をかければ、少しでも安く良いものを探し出す手立てが見つかるでしょう。

どうしても入手出来ないなら、今の時代、著者に直接メールで依頼することも可能です。ティンデル図書館ではコピーサービスもしていますし、個人会員として、JSTORから論文をダウンロードすることも可能です。以前紹介しました、学者同士のFacebookである、Academia.eduでは、しばしば著者自身が自分の論文をアップロードしています。

しかし、個人のブロガーの記事に依存するのは危険です。本人以外には、その内容をスクリーニング(審査)する手立てがないからです。いくら手っ取り早いからと言って、安易にそのようなホームページやウィキペディアの情報に頼ることは避けたいものです。

神からの情報発信である「聖書のことば」に対しては、誰よりも敏感でありたいと思います。

編集後記

世界の戦乱や難民、地震や噴火の報が続く、日常生活に侵入する凶悪犯罪がメディアを騒がせます。私たちの国の曲がって行こうとする方向の危うさに心が重くなります。そのただ中で、それだ

からこそ、神を愛し、隣人を愛する生を正しく理解して歩めるように、主を見上げ、主を待ち望む眼差しが歪むことがないように、主の助けを祈っています。(A)